しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-68

説明文 4（考えと 事例）

ふつう ★★☆ ・ 考えを ささえる 事例



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

①生き物の体の色は、身を守るのに役立っています。②たとえば、高い山にすむライチョウは、冬になると羽が白くなり、夏には茶色っぽくなります。雪の白さや、夏の岩や草の色にまぎれて、てきに見つかりにくくなるのです。③また、緑色のバッタは、草むらの中にいると、どこにいるのかなかなか分かりません。④海のそこにすむカレイは、すなの上で体の色をまわりに合わせてかえ、すがたをかくします。⑤このように、生き物は体の色を生かして、身を守っているのです。

1 読んで、答えに○をつけよう。

1 筆者の考えが書いてあるだん落はどれかな。 ㋐ ②と③ ㋑ ①と⑤ ㋒ ③と④

2 事例として出てくる生き物はいくつですか。 ㋐ 四つ ㋑ 三つ ㋒ 二つ

3 ライチョウの羽は、冬になるとどうなりますか。 ㋐ 黒くなる ㋑ 緑色になる ㋒ 白くなる

4 緑色のバッタが見つかりにくいのは、どこにいるときですか。 ㋐ すなの上 ㋑ 雪の上 ㋒ 草むらの中

5 カレイは、どうやってすがたをかくしますか。 ㋐ すなを体にかける ㋑ 体の色をまわりに合わせてかえる ㋒ 岩の中にもぐる

6 この文章で、体の色は何に役立つと書いてありますか。 ㋐ 身を守ること ㋑ 体をあたためること ㋒ なかまをよぶこと

できたら はなまる

つぎまる プリント

どっかい ・ つぎは 「説明文 5（だん落の つながり）」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）